地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2015
10月
No.17

兵庫県立尼崎総合医療センター

[部門紹介]

地域医療連携センター「患者さんの診療のお手伝いをするとともに、病院と社会をつなぐハブの役割りを…。」

[各科紹介] 消化器外科・消化器内科

●尼崎市薬剤師会 会長からの“ひとこと”　●セミナーのご案内
●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

部門紹介
地域医療連携センター

地域医療連携センターは患者さんの診療のお手伝いをするとともに、病院と社会をつなぐハブの役割りをしています。

地域医療連携センター長
地域医療連携部長
脳神経外科 科長
山田 圭介

副院長
（地域医療連携・
医療情報 担当）
消化器内科部長
齋田　宏

◉具体的には以下のように大別することが出来ます。

その1 前方連携とよばれるもので、患者さんがスムーズに診療を受けていただけるように、診察や検査予約、転入院調整を行い、また迅速に紹介していたくために、他の医療機関への情報提供もおこなっています。

その2 当院で治療を受けていただく間に生じる不安や心配事、治療費に関すること、保険に関することなど、さまざまな問題に対する相談支援をおこなっています。

その3 後方連携と呼ばれるもので、当院から転院、または自宅や施設へ退院される際の、さまざま手続きや調整、各種申請のお手伝いをおこなっています。

その4 患者さんが病気への知識を深めていただくための講演会や、他の医療機関との研修会を開催しております。また、医師会、歯科医師会、薬剤師会、役所、消防署等との連絡も密にとっております。

病院にとって退院はひとつのゴールでありますが、患者さんにとってはスタートでもあります。地域医療連携センターはその生活の再出発のお手伝いをさせていただきたいと考えています。

当院にかかってよかったと思っていただけるように頑張っていきたいと思います。何かお困りのことがありましたら、遠慮なくご相談くださいますようお願いいたします。

消化器
外科

あらゆる消化器外科手術に高度の技術で対応します

当科ではあらゆる消化器外科手術にそれぞれの専門医が高度の技術をもって対応しています。腹腔鏡手術を積極的に取り入れるとともに肝胆膵領域における高度進行癌にも血管合併切除再建により根治を目指します。また腹膜炎、胆嚢炎、腸閉塞などの救急疾患についても24時間消化器外科医が常駐し救命救急センターと連携することにより迅速に対応し、術後もEICUなどの集中治療室で管理することで良好な治療成績をおさめています。

後列左から：岩間医師、吉川医師、平田医師、鹿子木医師、北條医師、池田医師、石田医師
前列左から：田村医師、白潟医師、牧医師、倉橋医師

消化器
内科

超高齢化社会の下支えとして

対象とする症状や疾患

消化器救急病態として消化管出血、胆道系結石・炎症、イレウス（腸閉塞）などが上げられます。ヘリコバクターピロリ感染に伴う消化性潰瘍の他に薬剤性消化管出血や大腸憩室出血が増えています。胆嚢炎や総胆管結石症も高齢者に多く見られます。過去の腹部手術などによる癒着性イレウスや腫瘍性の腸閉塞も比較的高齢者に多い病態です。
癌は加齢とともに増加します。今後消化器領域では大腸癌、膵癌、食道癌などの増加が予想され、胃癌は高齢者には増えています。

治療・検査など

県立尼崎総合医療センター消化器内科では365日当直を行い、緊急内視鏡検査・治療を含めた消化器救急病態への迅速な診療体制を整えています。
高齢化社会であるからこそ消化器内科医の果たす役割は重要です。早期消化管癌に対する粘膜下層剥離術-ESD治療や総胆管結石の内視鏡的経乳頭的治療などの他に、進行病態に対しての胆管ステント留置などの減黄術や消化管ステント留置による腸管閉塞解除術など、侵襲の少ない内視鏡治療や緩和治療は高齢者医療に欠かせないものです。
癌に対しては、早期発見が重要であるのは今後も変わりません。当内視鏡センターでは内視鏡検査にセデーション（鎮静薬を使用して患者さんがウトウト寝ている間に検査を施行—いわゆる無痛性内視鏡）を行っており、術後覚醒まで患者さんに休んでいただくリカバリーベッドを十分に用意しています。
進行癌に対しては、外科・放射線科と連携して患者さん個々に合わせたオーダーメイドの治療を行っています。
肝疾患に対しては病棟に専用の肝疾患治療室を設け、エコーガイド下の治療（RFAなど）を積極的に行っています。またC型肝炎に対しては積極的に最先端の治療を行っています。

我々消化器内科チームは一丸となり、今後の尼崎・阪神地域の社会・消化器疾病の変化に全力で対応していきます。

診療内容の紹介

消化器癌に対する低侵襲手術と最高難度手術

胃癌、大腸癌には腹腔鏡による低侵襲手術を積極的に取り入れ患者様の負担軽減を目指しています。肝胆膵領域の進行癌は切除に高度の技術を必要としますが血管合併切除再建を積極的に取り入れることにより根治を目指しています。

腹部救急疾患に対する緊急手術と術後集中管理

穿孔性腹膜炎や腹部外傷などの腹部救急疾患には迅速に対応し緊急手術から術後の集中管理を行います。

対象とする疾患

消化器癌

食道、胃、大腸、肝胆膵の消化器癌に対し手術と進行癌には化学療法も行います。

腹部救急疾患

穿孔性腹膜炎、虫垂炎、胆嚢炎、腹部外傷に対し２４時間対応で緊急手術を行います。

胆嚢結石

可能な限り、低侵襲な腹腔鏡下手術を行います。美容に優れた単孔式手術も行っています。

鼠径ヘルニア

術後の痛みの少ないメッシュを使った治療を行います。さらに低侵襲の鏡視下手術も行っています。

消化器外科科長

白潟 義晴

京都大学医学博士
日本外科学会専門医･指導医
日本消化器外科学会専門医･指導医
日本肝胆膵外科学会評議員　肝胆膵外科高度技能指導医

超高齢化社会の到来で増加する消化器疾患は、①救急病態と②癌です。高齢者の孤立化（一人暮らしなど）社会環境の変化、高齢に伴う身体状況の変化（加齢・身体の老化、常用薬剤の増加、現在・過去の疾病治療歴など）等に対して、医療も変化が要求されます。

後列左から：福田医師、正木医師、中井医師、長尾医師
西岡医師、藤本医師、山崎医師
中列左から：菱谷医師、熊原医師、小山医長、野本医長
前列左から：森澤医長、松村部長、木村部長、梅田部長

消化器内科科長

木村 利幸

京都大学医学博士
京都大学医学部臨床教授
日本内科学会認定医･指導医
日本消化器病学会指導医
日本消化器内視鏡学会指導医

県立尼崎総合医療センターへ

ひとこと

県立尼崎総合医療センターのご開院によせて

一般社団法人尼崎市薬剤師会 会長　牧　孝子さん

待ちに待った県立尼崎総合医療センターご開院 誠におめでとうございます。

貴病院は、私たちの命を守る24時間365日対応するＥＲ型の救命救急センターをはじめ、南海トラフなどの災害に備え敏速に対応出来るよう屋上にヘリポートを整備し、免震構造も万全で水や電気なども病院機能を失わないように整えられており、高度専門医療（癌・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病等）や妊婦・新生児に対する総合的周産期医療体制も万全です。この様な高度先進医療の元、医師を中心に薬剤師・看護師・様々な職種の方の日々の献身と努力は大変なものと思います。この地に暮らす私達にとっては、本当に心丈夫です。

私共薬剤師会に於きましても外来1500～1600名の患者様のほとんどが院外処方ですが、一年以上前から病院と打ち合わせファックスコーナーを設置していただき、かかりつけ薬局制度（家の近くや職場近くの薬局に、ご自分のかかりつけ薬局を持って頂く）を各薬局並びに病院でも患者様に啓蒙してまいりました。

お陰様で余り混乱もなく面分業が誠にスムーズにいきほとんどの患者様にお薬手帳を携帯して頂き、かかりつけ薬局への認識も増えました。これもひとえに院長先生はじめ病院のご協力と薬薬連携の賜物と、思っております。

今後、医療と介護・福祉など多職種連携で在宅に向けての患者中心のシステムが構築されていくと思いますが、私共　薬剤師会もお薬手帳を活性化し、患者様の残薬整理やフィジカルアセスメント・薬物動態の管理の研修会を進め、日々努力しております。少子高齢化の日本での新医療構想としての尼崎総合医療センターのような高度急性期病院から急性期・回復期・慢性期そして在宅への流れの中で、市民・他の医療機関にとっても貴病院の果たす役割は大きいと思います。

私共薬剤師会も薬薬連携を中心に微力ながら協力を惜しまないつもりでございます。

今後の益々のご発展を期待しております。

2つの当院企画セミナーのご案内

多くの方のご参加を！

第54回 すこやかセミナー

【テーマ】● 眼瞼下垂症について
「まぶたが重い」「視野が狭い」「老けてみえる」
ーそのまぶた、手術で治せるかもしれません!ー

講 師：県立尼崎総合医療センター　形成外科　医師　堀尾　修

【日　時】平成27年11月11日（水曜日）
午後2時～3時30分
【場　所】県立尼崎総合医療センター　講堂（1階）
参加費：無料（予約不要）

★お問い合わせは、地域医療連携センター　☎ 06-6480-7000（代表）へ

第1回 生活習慣病セミナー

【テーマ】● 知っておきたい更年期のこと
～ 男性と女性の違い ～

講 師：県立尼崎総合医療センター
糖尿病・内分泌内科　医師　沼　眞喜子

【日　時】平成27年11月20日（金曜日）
午後2時～4時
【場　所】県立尼崎総合医療センター 講堂（1階）
参加費：無料（予約不要）

★お問い合わせは、外来Bブロック（糖尿病・内分泌内科）看護師　☎ 06-6480-7000（代表）へ

スタッフのつぶやき

医療コンシェルジュって…。

こんにちは！　医療コンシェルジュです。
ホテルの『コンシェルジュ』は、テレビなどですっかりお馴染みですが、医療の現場でも、『コンシェルジュ』が取り入れられるようになり、当センターでもスタッフが従事しております。患者様が、スムーズにかつ快適に診察を受けていただけるようお手伝いさせていただいております。受診の手続きのご案内や場所のご案内はもちろん、「どこに聞いたらいいの？」というようなこともお尋ね下さい。また、耳のご不自由な患者様には、タブレットを用いて手話でのご案内が出来る体制を整えております。不安な思いで来院される患者様の気持ちを少しでも安心に変えて頂けるよう頑張っています。

どうぞ、お気軽にお問い合わせ下さい！

ぶらり～っと病院探訪

病院屋上ヘリポート

一般の皆さんにはあまり知られていないかもしれませんが、県立尼崎総合医療センターの屋上にはヘリポートが設置されています。もちろん、患者搬送用のドクターヘリコプターが離着陸するためのものです。災害時の救急搬送や、遠方の患者さんを輸送する時などに使用します。

先日、岡山県からの患者さんの搬送で初めて活用されました。スタッフが、ヘリポートで受け入れ準備を整え、到着後は専用の直結エレベーターで速やかに救急病棟へと移動させることができました。

こういった形で患者さんを受け入れることができることも、救急医療の拠点病院としての役割を担う当院の特徴であると考えます。

編集後記

新病院へ移転して2ヵ月がすぎ、ようやく引っ越しのドタバタや新システムにも慣れてきて、院内の雰囲気も若干落ち着いてきたように感じます。

気候も涼しくなり、仕事から帰りに家でピーナッツあてにソファーで一杯やっていると気が付けば朝!?結果、喉が痛み、熱出して1週間苦しむ羽目になってしまいました。

気候の変わり目で自分のように体調崩さないように、休みもしっかり取って疲れを残さないようにしましょう。

（W.K）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/

兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社